



2023年7月20日

各位

会社名 株式会社ニイタカ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 野尻大介
(コード番号 4465 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 加藤貴志
TEL : 06-6391-3266

プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況（変更）及び スタンダード市場への選択申請及び適合状況について

当社は、2021年12月24日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」（以下「適合計画書」）、2022年8月19日に「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況」を提出し、その内容について開示しております。

今般、2023年6月30日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況及び適合に向けた計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。また、直近でのプライム市場の上場維持基準への適合状況を踏まえ、2023年4月1日施行の株式会社東京証券取引所の規則改正に伴い、スタンダード市場への上場の再選択の機会が得られたことから、本日開催の取締役会においてスタンダード市場へ選択申請することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、スタンダード市場への選択理由及びスタンダード市場の上場維持基準への適合状況については、下記のとおりです。

記

1. プライム市場の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）で、流通株式時価総額について、基準を充たしていないことから、2021年12月24日に「適合計画書」を開示し、中期経営計画の最終年度である2025年5月末までの充足を目指し、中長期的な企業価値の向上を図る各種施策への取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、プライム市場の上場維持基準への適合状況について、下表のとおり推移となり、流通株式時価総額のみ現時点で基準を充たしておりません。

		流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況 及び その推移	2021年6月30日 時点 ※1	33,352 単位	86.6 億円	56.1%	2.1 億円
	2023年6月30日 時点 ※2	35,755 単位	76.1 億円	60.1%	0.3 億円※3
2023年6月30日時点 適合状況		適合	不適合	適合	適合
プライム市場 上場維持基準		20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円

※1 東証が2021年6月30日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 東証が2023年6月30日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※3 1日平均売買代金は、2022年1月から2022年12月までの平均として東証が算出した数値となります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2022年6月～2023年5月）

2021年12月24日に開示しました「適合計画書」に基づき、企業価値を向上させるとともに、株式市場で適正な評価を得るための取組みを以下のとおり実施してまいりました。

① 中期経営計画の推進による業績拡大

2022年7月14日に開示しました中期経営計画「NX2025」（2023年5月期～2025年5月期）に基づき、感染対策用製品の開発及び拡販、人手不足に対応する製品の拡販、新規チャネルの拡大に注力し、売上は順調に推移いたしました。

また、乳酸菌発酵製品の製造販売を手掛ける株式会社バイオバンクの株式を2023年3月28日に取得、子会社化し、新規事業としてヘルスケア分野での事業展開を見込んでおります。

利益につきましては、製品価格の適正化やコスト削減の取組みを強化しましたが、原材料価格の高騰や物流費上昇などに加え、アルコール製剤の需要減少などから、2022年12月23日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」及び2023年7月13日に開示しました「2023年5月期決算短信」のとおり、当初の利益計画を下回りました。

② 株主還元施策の実行

経営基盤強化への投資、財務基盤の安定を図るとともに株主の皆様に対する利益還元を重要な政策の一つとして認識し、2022年7月14日に配当政策の基本方針を「将来の企業価値を高める事業戦略に必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%以上もしくは株主資本配当率（DOE）2%のいずれか高い金額を目安に配当を継続的に実施する」といたしました。

なお、配当政策の基本方針は、2023年5月期の中間配当より適用し、年間配当金64円を予想しております。（ご参考 2022年5月期 年間配当金実績28円）

③ IRの強化

IR活動の強化として機関投資家向け決算説明会、個人投資家向け説明会を年2回開催、当社HPにて決算説明資料、決算説明動画など各種資料を開示し、情報の充実化を図りました。

以上の取組を実施いたしましたが、「①中期経営計画の推進による業績拡大」において、本日開示しました「中期経営計画の見直しに関するお知らせ」のとおり、当初の利益計画を下回る見込となりました。また、2023年6月30日時点における流通株式時価総額は、プライム市場上場維持基準に対し未達となりました。

3. スタンダード市場への選択理由

前述のとおり、中期経営計画「NX2025」の営業利益計画を下回る見込となることから、経過措置適用期限内にプライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額について適合、維持することが不透明な状況となりました。

このような状況を勘案し、検討、議論を重ねた結果、短期的なプライム市場上場維持施策より、中期経営計画「NX2025」の見直し、その達成に経営資源を集中的に投下することが中長期的な企業価値向上に資すること、また、プライム上場維持基準の充足を安定的に維持できない場合、上場廃止のリスクが常にあることから株主様が安心して、当社株式を保有していただく環境を確保することが重要であることからスタンダード市場を選択する判断に至りました。

4. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

なお、2023年6月30日時点におけるプライム市場の上場維持基準で適合していなかった流通株式時価総額について、スタンダード市場の上場維持基準へ適合状況は下表のとおりでスタンダード市場の全ての上場維持基準に適合しております。

		株主数	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	月平均 売買高	純資産 の額
当社の 適合状況及び その推移	2023年6月 30日時点 ※1	4,938人	35,755単位	76.1億円	60.1%	3,017 単位※2	129億円 ※3
スタンダード市場 上場維持基準		400人	20,000単位	10億円	25%	10単位	正

※1 東証が2023年6月30日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 2023年1月～6月における東証の売買立会での売買高を月次平均にして当社が算出を行ったものです。

※3 2023年7月13日に開示した「2023年5月期決算短信」に基づき当社が算出を行ったものです。

当社は、スタンダード市場への上場の選択申請時点で、同市場全ての上場維持基準に適合している状況にあることから、今後、上場維持基準の各項目の判定基準日時点において、同市場の上場維持基準にいずれかに適合しない状況とならない場合、「スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画」の開示の必要はありません。

なお、スタンダード市場に移行後も引き続き、「中期経営計画の推進による業績拡大」、「株主還元施策の実行」、「IRの強化」に取り組むことにより企業価値向上を図り、将来、プライム市場への上場市場区分変更を目指してまいります。

以上